

手話で高齢者と「好き」「嫌い」質問ゲームを楽しもう!

教育課程上の位置付 生活科

実施概要

高齢者施設との交流は初めてです。児童が施設を訪問し、始めに児童が手話を交えて自己紹介を行いました。次に、児童は「好き」「嫌い」を手話で利用者に覚えてもらい、問題をボードに出して手話で答えてもらいました。「きなこ餅」、「子供」などについて利用者が手話で「好き」「嫌い」を答えていました。

最後に、児童が「ヤングマン」を音楽に合わせて踊り、途中の「YMCA」では利用者も児童と一緒に踊りました。

活動参加者 当校 児童…8人 担当教員…3人
内訳 交流先 利用者…40人 担当職員…4人

交通手段 当校と菊かおる園との距離はおおよそ635m
徒歩で訪問 約15分



子供たちの汗いっぱいの熱演に利用者も一体に

活動報告 実施日：10月11日(木)

始めに、児童が「一生懸命準備してきたので喜んでもらえたらうれしいです」と挨拶すると、利用者から拍手が起り、和やかな雰囲気となりました。続いて、児童は手話を交えて自己紹介を行いました。

次に、「好き」「嫌い」を手話で答えるゲームでは、児童の説明をよく聴いて、「子供」という問いには手話で何回も「好き」を繰り返す利用者がありました。最後に、児童が踊る「ヤングマン」では、歌の途中の「YMCA」で利用者も両手を使ってアクションを行い、会場は一体感に包まれました。

終わると、利用者から「アンコール」の声が上がり、児童はまた元気よく踊りました。汗一杯の児童に、感動して涙ぐむ利用者もいました。

当日のスケジュール

- 13:15 学校、施設、SSC、都教委4者打合せ(1階会議室)
- 13:35 児童、引率教員と施設に到着
- 13:40 始まりの言葉(児童)
 - ・児童全員が手話で自己紹介(教員が支援)
 - ・児童が手話の「好き」「嫌い」を利用者に指導
- 13:45 「好き」「嫌い」質問ゲーム
 - (児童がボードに書いた「きなこ餅」、「フラフープ」等に、利用者が「好き」「嫌い」を手話で回答)
- 13:55 「YMCA」のダンス
 - (児童のダンスに合わせて、利用者も両手でできる動作を共有)
- 14:05 終わりの言葉(児童)
- 14:10 閉会挨拶(施設所長)
 - 児童、施設を退出

■活動のために準備したもの

・交流会のプログラムやゲームに使うカード(児童作成)

■工夫したところ

- ・運動会で発表したダンスを交流会に向けてアレンジしました。
- ・交流会の準備を進める前に、高齢者施設について学習をしました。
- ・ろう学校について知ってもらえる様に簡単な手話をういたオリジナルのゲームを準備しました。
- ・有名な「ヤングマン」をダンスの曲に選びました。

■実施にあたって注意したところ

- ・ゲームでは絵と文字を準備して、児童の話が伝わるようにしました。
- ・説明では、教員が手話通訳を行い、補足説明をしました。
- ・子供たちが元気で明るい様子が伝わることを一番大事にしました。

■良かったと思うところ

- ・利用者に喜んでいただけたことが、子供たちの自信につながりました。
- ・高齢者施設を訪問することが貴重な学びになりました。
- ・地域との触れ合いという意味でも良い機会になりました。

■今後に向けての学校からの抱負

「高齢者の方との交流」というものをこれまで学校としては行っておりませんでした。今回このような機会をいただき、子供たちにとって大変良い経験ができ、感謝しています。

今後もお互いに無理のない範囲で交流を続けられれば良いと感じております。

当校は、幼稚部と小学部を設置する聴覚障害特別支援学校です。今年度で創立92年を迎えました。当校には、他に3つの分教室が江東区、大田区、杉並区にあり、合わせて194名の幼児・児童が通っています。職業体験では、児童が町内の店舗に行くなどの近隣との交流がありました。社会貢献活動は、最近では学校として組織的には行っていませんでした。

活動の感想

児童・教員の感想

児童

- ・おじさんたちが笑顔で見てくれて、うれしかったです。
- ・泣いてくれた人もいて、感動してくれたのかなと思いました。

教員

- ・とても温かく迎えていただき、素敵な時間を過ごすことができました。
- ・そして、ダンスやゲームを通して、障害や年代を超えて、心を通わせることができるのだと実感しました。

施設の参加利用者・担当者の感想

利用者

- ・みんな可愛かったです。踊りが上手でした。
- ・涙が出ました。皆さん、いい子でした。
- ・楽しくダンスをしました。
- ・こんなに小さいのに一生懸命やっているのを見ると涙が出ます。

施設長

今回初めてろう学校の児童と交流をもちました。児童は司会進行からゲーム・ダンスと元気いっぱいのパフォーマンスを見せてくれデイの利用者も一緒に体を動かし笑顔いっぱいの楽しい時間をもつことができました。利用者の皆さんも「御苦勞様・ありがとう」を手話で表現して交流を深めました。障害のある児童との交流は初めてでしたが障害を感じさせない交流会をもつことができ、今までの認識を変える良い機会となりました。



たくさんの利用者さんに初めは緊張しました



質問の答えは、覚えただけの手話で

■実施までの経過 ※(コ)：コーディネーター

- 7月5日 (コ)、当校を訪問。校長、副校長、主幹教諭と打合せ
その後、施設を訪問。施設長に当事業を説明、施設長快諾
- 7月25日 (コ)、校長、担当教員と施設を訪問。活動内容の打合せ
- 9月21日 (コ)、当校を訪問。校長、担当教員と内容の最終打合せ
その後、施設を訪問。施設長に活動内容の説明。動線を確認
- 9月25日 (コ)、施設を訪問。施設長、担当者と打合せ。活動内容、動線を確認
後日、メールにて校長、副校長、施設側と最終打合せ



交流先

社会福祉法人豊島区社会福祉事業団 特別養護老人ホーム菊かおる園

住 所：東京都豊島区西巢鴨2-30-19

■施設概要

- ・特別養護老人ホーム 定員90名
- ・ショートステイ 定員10名
- ・デイサービス 定員50名(基本型)
定員12名(認知症型)
- ・高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)